

This and That at MISHOP MISHOP News from all activities.

みんなの活動だより

発行: MISHOP広報部会

2019.7
67

5/19

大勢の参加者で盛り上がった 「国際交流ウォークラリー 2019」

毎年5月に行われるミショップの大きなイベントのひとつ「国際交流ウォークラリー」が、5月19日（日）に開催されました。

今年のウォークラリーの参加者は84人（うち日本人50人、外国籍市民34人）、ボランティアには杏林大学、ルーテル学院大学、東京女子大学などからの学生を含め45人の参加があり、総数129人という大勢の参加者で、大いに盛り上がりました。

日本人と外国籍市民で一つのチームを作り、計14組に分かれ、井の頭公園から三鷹国際交流協会までを、19か所のチェックポイントでクイズを解きながら歩きました。

今回の「足切り時間」（制限時間）は1時間45分で、このタイムまでにゴールできないと失格となりますが、なんと、今年は全チームが失格という初めてのケースになりました。その中で、「隠しタイム」（実行委員会が設定し、参加者には知らされない）との誤差や、クイズの正答率などを総合的に判断し順位を付け、それぞれ賞品が手渡されました。

参加者からは、「いつも通っている道や井の頭公園が、実は知らないことが多く驚きの連続だった」「三鷹のことがもっとよく分かった」という地元再発見の声や、「言葉の通じない相手とコミュニケーションが取れるか心配だったが、無事一緒に楽しい時間を過ごすことができた」「同じチームのメンバーが台湾、イギリス、チリの方とい

う多国籍で、いろいろな話をすることができた」など、国際交流を楽しんだ感想が聞かれました。

また、「たくさんの協力があって成り立っていることを改めて実感できた」というボランティア参加者の声もありました。



International Walk Rally 2019

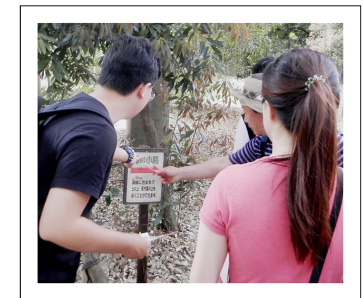
The “International Walk Rally 2019” was held on May 19th with 84 participants (50 Japanese and 34 internationals) along with 45 volunteers—many of them university students—for a total of 129 participants.

Fourteen teams of Japanese and foreign citizens walked from Inokashira Park to the Mitaka International Association Office while solving quizzes at checkpoints.

This time, the time limit was set in advance at 1 hour and 45 minutes, meaning that teams taking longer than this time to reach the goal would be disqualified. For some reason, all teams went past the time! The order from the hidden reference time error and the rate of correct answers to the quizzes were judged comprehensively.

From the participants: “The streets that I always walk along and Inokashira Park held a series of surprises for me!” “It was fun to chat with people from so many different countries!”

One volunteer remarked: “I realized that there was a lot of cooperation with many people to make this event possible!”



ねんめ はい
11 年目に入った
こ きょうしつ
「子ども教室」

「子ども教室」は三鷹市在住の外国籍の子どもと、外国につながる子どもたちを対象に2009年に活動を開始。7人の子どもで始まり、以後、10人ほどの人数でしたが、17年からは18人が日本語を学んでいます。

現在は小学1年生から中学3年生までいます。フィリピンからの8人、中国からの3人、バングラデシュ、タイ、台湾から各2人、スリランカ1人です。

ボランティアは12人。本来ならば1対1でのサポートを目標としているのですが、なかなか1対1でのサポートは難しい状態です。

活動時間は土曜日の10時から。小学生は11時半まで、中学生は12時まで。この活動だけでは日本語のサポートが足りないと思う高学年の子どもたちには、週1、2回、平日の夕方にさらにサポートを行っているのが現状です。

学期の終わりにはポトラック（持ち寄り）パーティーを催し、その際、父母たちも交流しています。親同士はここでの情報収集を子育てにも活用しているようで、中国語、タガログ語などで話が弾んでいることも多々目にしています。この集いでは私たちボランティアも外国の食文化を知るチャンスでもあり、また卒業した子どもたちが姿を見せてくれることもあり、ボランティア冥利を味わっています。

この教室を立ち上げた時、子どもたちの居場所作りも目的の一つだったことを思えば、少しずつ子ども教室も根付いてきているのだと思えます。

ゆとり教育も終わり、子どもたちの学校のスケジュールも少しずつ変わり始めているようなので、このこともこれからは考慮しなくてはならないのかもしれない。

(子ども教室ボランティア 望月ちえ子)



The “Children’s Classroom” Now in Its 11th Year

The “Children’s Classroom” started its activities in 2009 for the children of foreign nationals who live in Mitaka City and children connected with foreign countries.

Currently, 18 youngsters from the first year of elementary school to the third year of junior high are learning Japanese. Eight are from the Philippines, three from China, two each from Bangladesh, Thailand, and Taiwan, and one from Sri Lanka.

There are 12 volunteers. The goal is one-on-one support, but it is difficult.

The activity starts at 10 o’clock on Saturday. Elementary school students study until 11:30, and junior high school students until 12 o’clock. For upper-grade children who think that this classroom alone is not sufficient for Japanese language support, we provide additional assistance once or twice a week on weekday evenings.

There is a potluck party at the end of the semester. Parents also interact, and talk in Chinese, Tagalog, etc. Volunteers have the opportunity to learn about the cuisine of other countries, and there are also occasions when children who have graduated show up.

The purpose of this class is to create a gathering place for the children, and it seems that this has gradually come about. (Chieko Mochizuki)

MISHOP 子ども教室 時間割り	MISHOP 子ども教室 時間割り
小学生	中学生
9:40 準備	9:40 準備
10:00 朝礼	10:00 朝礼
10:05 学習	10:05 学習
11:20 学習の記録	11:50 学習の記録
11:30 終わりの挨拶	12:00 終わりの挨拶



今年30回目を迎える「国際交流フェスティバル」は9月22

日(日)、井の頭恩賜公園西園文化交流広場と野球場周辺で開催されます。すでに5月28日と6月25日に実行委員会が開

かれ、石井章夫実行委員長を中心に30回目にふさわしい企画

を練っています。出店申し込みはすでに締め切れ、近くチラシとポスターのデザインも決まります。皆さんの力で記念すべき日を盛り上げましょう。

The 30th Mitaka International Festival will be held on Sunday, September 22 around Inokashira West Park Bunka Koryu Hiroba and the baseball field. The Steering Committee has already met twice on May 28 and June 25 to plan for a fitting 30th festival. The deadline for applications for operating booths has now passed, and the designs of flyers and posters will be decided soon. Let’s work together to make this a truly memorable event!